

学 界 消 息

1. 村上氏渡米

本学会会員、気象研究所予報研究部第3研究室長の村上多喜雄技官は、「大気大循環の研究」を一年間MITで行なうため、2月2日横浜を立たれた。

2. 須田氏渡米

気象研究所地球電磁気研究部の須田友重 研究官は、「宇宙線の研究」を一年間ネブラスカ大学で行なうため、1月15日に出発された。

3. 第2回世界地震工学会議が開かれる

1960年7月11日から18日まで、東京（産経会館）および京都（国際文化観光会館）で、日本学術会議主催のもとに第2回世界地震工学会議（Second World Conference on Earthquake Engineering）が開催される。第1回の会議は1956年6月米国カリフォルニア州パークレー市（カリフォルニア大学のあるところ）で開かれた。こ

の会議の主な目的は、世界各国から出席する地震工学分野の科学者および技術者の間で、地震の害を防ぎ、人類の利益をはかるための方途について、知識と経験を発表し合うことである。

理 事 会 便 り

第22回常任理事会議事録

日 時 昭和35年2月6日 10.00~12.30

場 所 神田一ツ橋 学士会館

出席者 伊東・神山・根本・今井・吉武・岸保・島山・有住・淵・各理事（順序不同）

決 議

1. 昭和35年度総会および春季大会のスケジュールを右のようにすることとなった。
2. 第11期役員選挙告示は「天気」2月号に掲載することとなった。
3. IUGGに対する陸水学関係の論文リスト提出は伊東理事が担当することとなった。
4. 世界地震工学会議および原子力関係研究発表会の記事は簡単に「天気」で紹介掲載することとなった。

行 事	日 時	
大 会（研究発表）	5月12日（木）	9:00—12:00
〃	〃	13:00—17:00
〃	5月13日（金）	9:00—11:00
総会・学会賞授与式	〃	11:00—12:00
関西支部総会	〃	12:30—13:00
受賞記念講演	〃	13:40—14:40
大 会（研究発表）	〃	14:00—17:00
懇 親 会	〃	〃
大 会（研究発表）	5月14日（土）	9:00—12:00
シンポジウム「大気汚染」	〃	13:00—17:00